

前中期経営計画の達成状況（総括）

決算特別委員会参考資料
平成28年9月20日
上下水道局

1 経営状況について

●水道事業（計画期間：H23～H27）

経営目標	水道	
	計画	実績
料金	維持	維持
累積資金剰余 (建設改良基金を含む)	約60億円	約76億円(16億円)
企業債残高 (北部福岡緊急連絡管事業分を除く)	約595億円	約559億円(▲36億円)

●下水道事業（計画期間：H22～H27）

経営目標	下水道	
	計画	実績
料金	維持	維持
累積資金剰余	約24億円(H27当初予算)	約31億円(7億円)
企業債残高	約1,716億円(H27当初予算)	約1,657億円(▲59億円)

2 主な事業について

●水道事業（計画期間：H23～H27）

基本理念	施策目標	事業目標	目標値(H27)	達成状況(H23～H27)	
『お客さまに信頼される水道』	お客さまが安心しておいしく飲める水道	・3階建以上の直結式給水率	40%	40%	概ね達成
		・アクアフレッシュ事業(直結式給水:学校)	180校	161校(H19～)	
	いつでも安定して供給できる水道	・水道トライアングル構想の実現	H24	完了	達成
		・浄水施設耐震化率	33.2%	33.2%	
		・配水池耐震施設率	21.5%	47.4%	
		・基幹管路耐震化率	42.0%	43.7%	
		・配水管更新延長	250km	284km	
	安価な料金を維持する水道	・水道用地の有効活用	57百万円以上	75百万円	達成
		・営業業務の包括委託	H24	完了	
	お客さまに親しまれる水道	・水道施設の市民開放の促進 ※浄水場見学者人数	8,000人以上/年	8,820人/年	達成
・水道100周年記念事業		H23	完了		
環境モデル都市を推進する水道	・自然エネルギーの活用 ※太陽光、マイクロ水力発電導入	2000kw以上	2049kw	達成	
	・省エネルギー対策 ※エネルギー単位の削減率	5.0%	10.5%		
	・浄水汚泥の有効利用 ※浄水発生土の有効利用率	100%	100%		
世界・地域に貢献する水道	・国際貢献を通じた技術の継承と人材育成	受入人数 80人以上/年	60人/年(301人)	概ね達成	
	・海外水ビジネスの展開	ビジネスモデル構築(H23)	H23からビジネス展開		
	・水道事業の広域化	分水解消	水巻統合(H24.10～) 岡垣用供(H27.4～)		

●下水道事業（計画期間：H22～H27）

基本理念	施策目標	事業目標	目標値(H27)	達成状況(H22～H27)	
『水めぐる“住みよいまち”をめざして』	安全で快適なまちを支える～市民の暮らしを守る～	・雨水整備率	71.4%	71.4%	概ね達成
		・浄化センター・ポンプ場の耐震化 ※重大な建物(管理棟等15棟)の耐震化	100%	100%	
		・特に緊急性の高い管渠の耐震化 ※対象管渠(第1期分107km(H29))の整備率	76.2%	70.9% ※大口径管から工事着手。今後、小口径管の耐震化を本格化。 ※H29目標107kmは達成見込。	
		・大口径管渠の改築更新 ※対象管渠(約30km)の整備率	78.2%	75.1%	
		・小口径管渠の改築更新 ※対象管渠(約520km)の整備率	43.4%	42.6%	
	水や資源の循環と低炭素化を進める～より良い環境をつくる～	・合流改善達成率	43.4%	43.4%	概ね達成
		・太陽光発電システムの導入	15基	12基 ※土木構造物の耐震性能を満たすまで当面延期	
		・下水道施設のエネルギー消費削減率 ※(対H18)	8.2%	9.0%	
	下水道「たから(資産)」を活かす～社会の活力を増進する～	・企業等との共同研究の実施回数	6回	8回	概ね達成
		・海外研修生の受入数	1,200人	2,053人	
・処理水再利用率		10.0%以上	5.4% ※ポンプ無注水化に伴う場内利用の減少		